



## QRT Viewer

---

この章では、Tools メニューに含まれている QRT Viewer の使用方法を説明します。IP Phone Problem レポートのリストを生成する方法については、「[IP Phone Problem レポートの一覧表示](#)」を参照してください。

QRT Viewer を使用すると、Quality Report Tool (QRT) によって生成された IP Phone Problem レポートを表示できます。QRT は、Cisco CallManager IP Phone に関する音声品質および一般問題のレポート ツールです。Cisco Extended Functions サービスは QRT 機能をサポートしています。Quality Report Tool の詳細については、『*Cisco CallManager Serviceability システム ガイド*』の P.10-1 の「Quality Report Tool」を参照してください。QRT の設定および使用方法については、『*Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド*』を参照してください。Cisco Extended Functions サービスの詳細については、『*Cisco CallManager Serviceability システム ガイド*』の P.3-1 の「Cisco CallManager サービス」を参照してください。QRT Viewer を使用すると、生成された IP Phone Problem レポートのフィルタリング、フォーマット、および表示を実行できます。

QRT は、Cisco Extended Functions NT サービスを使用するため、Cisco Call Back と同じアーキテクチャを共有します。また QRT は、Cisco Call Back と同じシステム要件、冗長性、依存関係、制限、インストレーション、およびアクティベーションも共有します。

## IP Phone Problem レポートの一覧表示

ここでは、QRT Viewer を使用して Cisco CallManager IP Phone Problem レポートを一覧表示する方法を説明します。



(注)

Quality Report Tool (QRT) は、1 コールに 1 回だけ、ストリーミング データを収集します。このため、A と B が通信し、両方が同じコールのレポートを送信した場合、最初のレポートにだけストリーミング データが含まれます。

### 手順

**ステップ 1** Cisco CallManager Administration ウィンドウから、**Application > Cisco CallManager Serviceability** の順に選択します。

Cisco CallManager Serviceability ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** **Tools > QRT Viewer** の順に選択します。

IP Phone Problem Reporting ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** Problem レポートを表示する、使用可能な Cisco CallManager サーバを選択します。



(注)

CEF Service Activation は設定変更が可能なため、ユーザがサーバを変更している場合があります。

**ステップ 4** Date: ボックスの From: に開始日を入力します (例: 2/2/2002)。

**ステップ 5** Date: ボックスの To: に終了日を入力します (例: 2/3/2002)。

**ステップ 6** From Time: 選択ボックスの下向き矢印をクリックして、収集する問題レポート情報を開始する時、分、秒を選択します (例: 3 時、45 分、0 秒)。

**ステップ7** To Time: 選択ボックスの下向き矢印をクリックして、収集する問題レポート情報を終了する時、分、秒を選択します（例：23 時、59 分、59 秒）。

**ステップ8** **Get Logs** をクリックします。

選択された時間枠に選択されたサーバで入手可能な、すべての電話機の問題レポートを収集します。IP Phone Problem Reporting のフォーマット ウィンドウが表示されます。図 13-1 を参照してください。

図 13-1 IP Phone Problem Reporting のフォーマット ウィンドウ

Cisco CallManager Serviceability - IP Phone Problem Reporting - Microsoft Internet Explorer

### IP Phone Problem Reporting

**Selection Criteria**

Extension Number: ALL

Device: ALL

Category: ALL

**Fields to Display**

**List of Fields**

- Date
- Category
- Reason Code
- Source Device Name
- Source Device DN

**Selected Fields**

Display Records View CSV

79901

## ■ IP Phone Problem レポートの一覧表示

- ステップ 9** Extension Number ドロップダウン メニューから、レポートに含める内線番号（複数可）を選択します。
- ステップ 10** Device ドロップダウン メニューから、レポートに含めるデバイス（複数可）を選択します。
- ステップ 11** Category ドロップダウン メニューから、レポートに含める問題カテゴリを選択します。
- ステップ 12** List of Fields ボックスから、レポートに含めるフィールドを選択し、下向き矢印をクリックして Selected Fields ボックスに配置します。



---

**(注)** ここでフィールドを選択した順序で、レポートにフィールドが表示されます。

---

- ステップ 13** **Display Records** をクリックすると、ブラウザにレポートが表示されます。[図 13-2](#) を参照してください。



---

**(注)** このレポートを Excel または同等のアプリケーションを使用して表示するには、[図 13-1](#) に示されている **View CSV** をクリックします。また、このレポートを CSV 形式で保存するには、[図 13-2](#) に示されている **Right Click here to Save in CSV** をクリックします。

---

図 13-2 IP Phone Problem のレポート結果

SeqId	Date	Source Device DN	Source Device Type	Source Packets
1	08/09/02 15:15:11	2002	CP-7960	491 990 1490 1990 2490 2990
2	08/09/02 15:27:11	2005	CP-7940	36370 36870 37370 37870 38380 38893
3	08/09/02 15:36:12	2002	CP-7960	529
4	08/09/02 15:36:44	2005	CP-7940	367
5	08/09/02 16:02:56	2005	CP-7940	836
6	08/09/02 16:05:29	2002	CP-7960	431
7	08/09/02 16:09:27	2005	CP-7940	836
8	08/09/02 16:09:48	2002	CP-7960	431
9	08/09/02 16:13:59	2005	CP-7940	836
10	08/09/02 16:16:28	2002	CP-7960	431

### 関連項目

- 『Cisco CallManager Serviceability システム ガイド』の P.10-1 の「Quality Report Tool」
- 『Cisco CallManager Serviceability システム ガイド』の P.3-1 の「Cisco CallManager サービス」
- Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド

